

日時 2023年10月10日 (火) 19:30~21:00 (質疑含)

演題 『サーキュラーエコノミー時代の拡大生産者責任とは』

講師 田崎智宏さん (国立環境研究所・資源循環社会システム研究室長)

申し込みは3R全国ネット(reuse@citizens-i.org)にメールをお願いします。
件名を、「オンラインセミナー第16回(10月10日)視聴希望」とし、氏名・所属・TELを記載してください。後日、視聴用のURLをお送り致します。

参加費無料
先着
100名まで

【講師プロフィール】

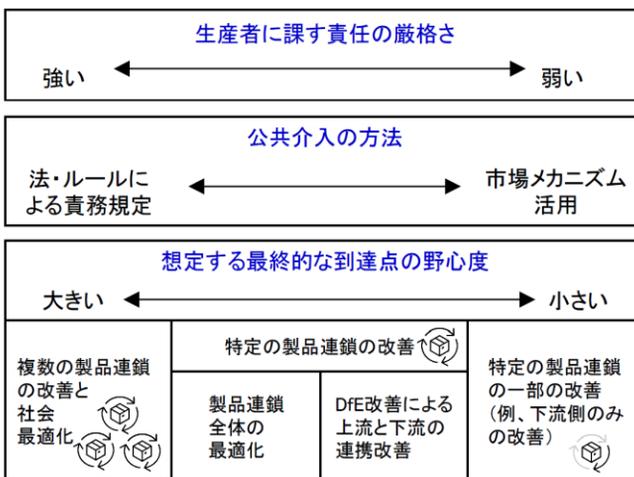


国立環境研究所・資源循環社会システム研究室長。博士(学術)。システム工学と政策研究の2つの専門性を活かして、廃棄物・リサイクルや持続可能な開発関連(指標やSDGsなど)の研究に従事してきた。中央環境審議会家電リサイクル制度評価検討小委員会委員、循環基本計画指標検討ワーキンググループ委員などを歴任。2010~11年にはスウェーデン・ルンド大学で拡大生産者責任の研究、2022年4月~2023年7月まで世界資源研究所にて社会システム・チェンジの業務に従事。現在は、将来世代のための研究プロジェクトのリーダーを務めている。

サーキュラーエコノミー時代の拡大生産者責任(EPR)とは？

国立環境研究所 田崎智宏

- **拡大生産者責任** (Extended Producer Responsibility: EPR)
生産者の責任を、製品のライフサイクルの使用済み段階まで拡大する環境政策のアプローチ(OECD)。ポイントは、廃棄物になってからの後始末ではなく、モノを作るときから廃棄物になるときのことを生産者が想定・対応すること
- しかし、議論が混乱しやすい。多様なEPRの考え方が存在するため(右下表)
- 世界は「**サーキュラー・エコノミー(循環経済)**」をキーワードに新たな資源利用・廃棄物管理の時代に突入
 - 何がこれまでと違う？
- **生産者ならびに他の関係主体**(販売者、消費者、自治体、リサイクラー、行政)の**責任・役割はどのように再考すべきか**を講演・議論の予定



容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-12-2
藤森ビル6B
市民運動
全国センター気付
Tel03-3234-3844
Fax03-3263-9463
携帯090-5433-8531